

平成25年度事業計画

I 基本方針

少子高齢化の一層の進展や65歳定年制への本格的移行など、高齢者を取り巻く社会経済状況は大きく変化し、年金、医療費、介護等「福祉の受け手」世代の増加と若い担い手世代の労働人口が減少傾向に進む中、国として「65歳以上であっても経済社会の重要な支え手、担い手として活躍することが出来る様な社会を目指す」とする動きもあり、シルバー人材センターは地域の高齢者の活動を支えるため、ますますその重要性は増しております。

このような情勢下、会員の加入促進を図り新たな就業機会を創出しながら関係機関のご協力・ご支援を得て体制整備に努め地域住民から信頼されるシルバー人材センターの構築に努めて参ります。

また、安全に業務を遂行することはシルバー人材センターにとって最も重要な課題であり、事故の未然防止を図るため、推進員等を配置しながら積極的に推進してまいります。

これらの方針に基づき、基本理念の「自主・自立・共働・共助」の下、以下の実施事項を掲げ、関係機関と連携を密にし、事業に取り組みます。

II 事業目標

25年度事業推進にあたり下記により具体的目標を設定し推進する。

区 分	目 標 値	前年計画対比
会 員 数	230 人	105 %
受 注 件 数	660 件	110 %
受 注 契 約 金 額	50,000 千円	125 %
就 業 延 人 員	10,000 人	125 %
就 業 率	90 %	100 %
粗 入 会 率	3.1 %	97 %

25年度受注契約金額内訳

前年比

- ・ 配分金 42,000 千円 125.8%
- ・ 材料費 4,640 千円 121.4% (配分金の11%)
- ・ 事務費 3,360 千円 125.3% (配分金の8%)

Ⅲ 実施事項

第1 安全・適正就業の推進

安全に業務を遂行することはシルバー人材センターにとって最も重要な課題であり、事故の未然防止のため就業上の安全保持、交通事故の防止、健康管理等、会員の意識高揚に努める。

- ① 安全・適正就業推進員を配置し取り組む
- ② 安全強化月間を設定し会員の意識高揚を図る
- ③ 安全就業巡回パトロールの実施
- ④ 安全講習会・研修会等の開催（安全運転講習会・普通救命講習会）
- ⑤ 適正就業の点検
- ⑥ 安全就業推進大会の開催

第2 会員の加入促進

受注拡大による就業会員不足の改善を図るため、生きがいの充実や社会参加を望む高齢者の方々の加入促進を図る。

- ① 会員拡大推進員を配置し取り組む
- ② 会員による入会促進
- ③ 毎月第2火曜日による入会説明会・講習会の開催
- ④ 広報紙等への掲載及びセンターのPR用チラシの配布
- ⑤ 女性会員及び賛助会員の入会促進

第3 就業機会の確保

会員の多様なニーズに応えるため、就業先の開拓と会員の知識、技術・及び技能等を生かせる様な新たな就業分野の拡充に努める。

- ① 補助事業による推進員を配置し就業機会の掘り起こしを行う。
- ② 家庭・個人の受注増に向け、会員自身による普及啓発に努める。
- ③ 未就業会員への連絡を密にし、就業機会の提供に努める。
- ④ 発注者の期待に応えられる技術・技能の向上を図るため各講習会を実施する。
- ⑤ パンフレットを作成し、効果的な開拓に努める。

第4 技術・技能向上等の取り組み

会員の技能向上と安全な作業遂行を図るため職群班を中心に講習会・研修会の充実を図る。

- ① 資質向上研修会（接遇・マナー）を実施する。
- ② 職種別研修会・講習会（植木剪定2回・草刈機械取扱・襖・障子貼り2回・ハウスクリーニング）の開催
- ③ 後継者の育成を目的とした研修会の開催
- ④ 会員の就業へ向けた能力・特技の把握と就業相談を随時開催する。

第5 シルバー派遣事業の取り組み

受注拡大と就業形態への対応及び会員の多様な就業を確保するためシルバー派遣事業の届け出を行う。

- ① 宮城県シルバー人材センター連合会との連携
- ② 役職員による研修会の開催

第6 ボランティア活動

公共施設の環境整備や清掃活動、地域の行事に協力するなど社会貢献と会員相互の交流の機会を設定する。

- ① 大和町まほろば夏祭りに参加協力する。
- ② 大和町まるごとフェアに参加協力する。
- ③ 町内の公共施設の除草、草刈り、庭木剪定等を行い環境整備に協力する。

第7 中期計画実績の検証

推移状況を理事会において評価検討し、必要に応じて修正を行い、今後の活動や計画策定につなげる。

IV 年間行事計画

月	行事名	開催場所	参加対象者
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会（基本的に月1回） ・専門部会（必要の都度） ・入会説明会及び基本講習会（月1回） ・地域班・職群班会議（随時） ・安全適正就業委員会(年2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ひだまりの丘 ひだまりの丘 ひだまりの丘 ひだまりの丘 ひだまりの丘 	<ul style="list-style-type: none"> 理事・監事 理事・監事 入会希望者 班長・副班長 安全委員
4	【会員加入促進月間】 <ul style="list-style-type: none"> ・決算及び監査 ・接遇研修会 ・安全・適正就業委員会 	<ul style="list-style-type: none"> センター事務所 ひだまりの丘 ひだまりの丘 	<ul style="list-style-type: none"> 監事 受付業務班等 安全委員
5	<ul style="list-style-type: none"> ・通常総会（5/24） ・ハウスクリーニング講習会 ・植木剪定講習会(前期) ・安全パトロール① 	<ul style="list-style-type: none"> まほろばホール ひだまりに丘 未定 各就業現場 	<ul style="list-style-type: none"> 正会員 就業会員等 植木剪定班等 安全委員
6	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈機械取扱安全研修会(1回目) ・普通救命講習会(黒川消防署) ・安全パトロール② 	<ul style="list-style-type: none"> 未定 ひだまりの丘 各就業現場 	<ul style="list-style-type: none"> 就業会員等 会員 安全委員
7	【安全就業強化月間】 <ul style="list-style-type: none"> ・安全運転講習会 ・安全パトロール③ 	<ul style="list-style-type: none"> 富谷自動車学校 各就業現場 	<ul style="list-style-type: none"> 希望会員 安全委員
8	<ul style="list-style-type: none"> ・奉仕活動（まほろばまつり） ・会員だより発刊 ・障子・襖貼り研修会（前期） ・安全パトロール④ 	<ul style="list-style-type: none"> まほろばホール ひだまりの丘 ひだまりの丘 各就業現場 	<ul style="list-style-type: none"> 希望会員 広報委員 表具班等 安全委員
9	【会員加入促進月間】 <ul style="list-style-type: none"> ・草刈機械取扱研修会（2回目） ・安全パトロール⑤ 	<ul style="list-style-type: none"> 未定 各就業現場 	<ul style="list-style-type: none"> 就業会員等 安全委員
10	【シルバー月間】 <ul style="list-style-type: none"> ・上期監事監査 ・先進地研修会 ・植木剪定研修会(後期) ・安全パトロール⑥ 	<ul style="list-style-type: none"> センター事務所 未定 未定 各就業現場 	<ul style="list-style-type: none"> 監事・理事長 役員・職員 植木剪定班 安全委員
11	<ul style="list-style-type: none"> ・奉仕活動（清掃作業） ・障子・襖張り研修会(後期) ・安全パトロール⑦ 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設 ひだまりの丘 就業現場 	<ul style="list-style-type: none"> 役員・会員 表具班 安全委員
12	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・適正就業委員会 ・会報発刊作成検討会 	<ul style="list-style-type: none"> ひだまりの丘 センター事務所 	<ul style="list-style-type: none"> 安全委員 広報委員
1	<ul style="list-style-type: none"> ・年間配分金明細書発送 ・シルバーたいわ発刊 ・先進地研修 	<ul style="list-style-type: none"> 未定 	<ul style="list-style-type: none"> 就業会員 広報委員 役員・班長等
2	<ul style="list-style-type: none"> ・安全就業推進大会（講演等） 	<ul style="list-style-type: none"> 研修センター 	<ul style="list-style-type: none"> 安全委員
3	【26年度事業計画策定】		

収支予算書における注記

- 1 借り入れ限度額 2, 0 0 0 千円
- 2 債務負担額
 - (1) 会計システムの5年間のリース契約によって以下の債務を負担する。
平成22年度～平成26年度 総額 4,189,500円
 - (2) 軽トラックの5年間のリース契約によって以下の債務を負担する。
平成22年度～平成26年度 総額 1,200,000円
 - (3) 普通バンの7年間のリース契約によって以下の債務を負担する。
平成22年度～平成28年度 総額 1,852,200円
 - (4) 会計システムトータルサポート契約によって以下の債務を負担する。
平成22年度～平成26年度 総額 1,612,800円
 - (5) パソコン増設の5年間のリース契約によって以下の債務を負担する。
平成23年度～平成27年度 総額 346,500円
 - (6) 軽トラックの5年間のリース契約によって以下の債務を負担する。
平成24年度～平成28年度 総額 883,050円
 - (7) 複合機の5年間のリース契約によって以下の債務を負担する。
平成24年度～平成28年度 総額 422,100円
 - (8) 業務サブシステムのリース契約によって以下の債務を負担する。
平成25年度～平成29年度 総額 951,300円
- 3 配分金収入の増加に連動する支出（配分金支出、材料費等支出）に限り予算額を超えて執行することができる。
- 4 予算の科目流用の必要があるときは理事会に一任する。